令和３年度事業報告（令和３年４月～令和４年３月）

１　法人運営事業

（１）組織の強化

－財源の確保－

〈会員募集〉

・賛助会員に対し会員継続、会費納入を依頼

・広報紙ゆうあいに募集記事を掲載、新規会員の増加を図る

〈その他〉　組織構成会員に協力依頼

※参考　登録賛助会員数（令和４年３月末）

法人賛助会員３６団体・個人賛助会員１９９名

（２）各種会議の開催

１）理事会

開催年月日	主　な　内　容
３．６．２	①令和２年度事業報告、決算報告(案)及び監査報告について ②役員（理事・監事）、評議員候補者の推薦（案）について ③評議員選任・解任委員会委員の選任（案）について　他
３．６．２２	①会長、副会長の選任について ②評議員選任・解任委員会委員の選任について
３．１２．３	①令和３年度上半期事業報告（案）について ②規程の制定（案）について
４．３．１６	①令和３年度補正予算（案）について ②令和４年度事業計画（案）、収支予算（案）について ③規程等の一部改正（案）について　他

２）評議員会

開催年月日	主　な　内　容
３．６．１８	①令和２年度事業報告、決算報告(案)及び監査報告について ②役員（理事・監事）の選任（案）について
４．３．２９	①令和３年度補正予算（案）について ②令和４年度事業計画（案）、収支予算（案）について ③理事の選任（案）について

３）評議員選任・解任委員会

開催年月日	主　な　内　容
３．６．１０	①評議員の選任について　他

４）善意銀行運営委員会

開催年月日	主　な　内　容
３．６．２	①福祉ボランティア活動応援資金の払出（案）について　他
３．１２．３	①令和３年６月～１１月の預託及び払出（活用）について
４．３．１６	①令和４年度預託金の払出（活用）（案）について　他

５）正副会長会

開催年月日	主　な　内　容
４．２．２５	①区社協設立７０周年記念誌について ②法人会計職員の採用について

６）地区社会福祉協議会会長連絡会

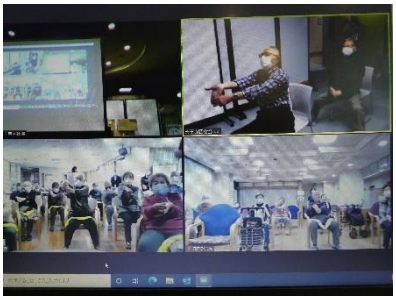
開催年月日	主　な　内　容
３．１０．２２	①区社協設立７０周年記念誌の作成について ②「天王寺区のつながり情報交換会」について　他

７）地区募金会理事会（役員会）

開催年月日	主　な　内　容
３．５．１３ （書面開催）	① 理事の選任について ② 令和２年度共同募金について ③ 令和３年度共同募金協力費並びに地区配分金について ④ 令和２年度共同募金決算報告並びに会計監査報告について
３．９．９ （書面開催）	① 会長の選任について ② 令和３年度赤い羽根共同募金運動について ③ 戸別募金の日程・資材の送付について ④ 街頭募金の実施について

８）社会福祉施設連絡会（天王寺区内２１施設対象）

開催年月日	主　な　内　容
３．７．３０	総会（出席者１６名　事務局５名） ① 役員の変更について ② 運営委員の改選について ③ 令和２年度事業報告について ④ 令和３年度事業計画案について ⑤ その他　各施設からの情報交換　区社協から助成金の案内
３．７．３０	第１回運営委員会（出席者５名　事務局５名） ①施設見学会について ②施設職員勉強会・交流会について
３．１０．１	共同募金 街頭募金活動の協力（高津学園・四恩学園）
３．１０．４	共同募金 街頭募金活動の協力（高津学園・四恩学園）
３．１０～ １２月	共同募金 募金箱設置の協力（老人福祉センター）

３．１１．９	オンライン交流会プレ開催 【四天王寺たまつくり苑・四天王寺きたやま苑・昭和男の体操教室（住民４名）】 ・Ｚｏｏｍで施設と団体をつなぎ、体操を通して交流を図る。 
４．２．１	第２回運営委員会（出席者５名　事務局３名） ① Ｚｏｏｍ交流会・施設見学会について ② 合同学習会の予定について
４．２．２８	オンライン交流会 【四天王寺たまつくり苑・蓮美幼児学園うえしおキンダースクール・Ｚｏｏｍプロジェクトチーム（住民７名）】 ・Ｚｏｏｍでつなぎ、施設や団体の説明、現状の共有、意見交換や質問を行い、交流を図る。
随　時	その他 ・メーリングリストを作成し、地域住民や団体からの寄付の情報、区役所・地域からの各種情報、助成金についての情報などの発信 ・施設と各種団体との連携支援

（３）広報・啓発・調査活動の推進

１）広報活動

①・区社協だより「ゆうあい」の発行（№６７、６８、６９）

・発 行 日　3.7.31(№67)、3.10.31(No.68)　4.2.13(№69)

・発行部数　各２８，０００部

（うち、区内配達新聞折込２２，３００部）

② ホームページ「天王寺区社会福祉協議会　ゆうあい」

新着情報の更新及びホームページ内フェイスブック、公式ラインを活用した、タイムリーな情報提供。

２）啓発活動・啓発物品の作成

① 啓発活動

3.9.27　『地域福祉映画会』（区民センター）

・「湯をわかすほどの熱い愛」上映

・にこにこ元気パック（つながり通信、啓発チラシ及び物品等）配布

4.3.3　『こどもの居場所シンポジウム』（区民センター）

・「みんなに知ってほしい！～天王寺区のこどもの居場所～」講演会の開催

・にこにこ元気パック（つながり通信、啓発チラシ及び物品等）配布

② 啓発物品の作成　　卓上カレンダー　1,300冊作成

（４）地域生活支援（法人独自）事業の推進

１）認知症サポーター養成講座の開催（定例・出前講座）
認知症に関する正しい理解を広げるため、一般向けに定例講座と出前講座を開催した。（詳細は、２社会福祉事業(5)福祉教育支援事業に記載）

２）「キャラバン・メイト定例会」の開催　５回開催
認知症サポーター養成講座の講師役であるキャラバン・メイトの方々が集まり、連絡会を開催した。
内　容　・認知症サポーター養成講座の実施について
・意見交換、活動報告等
・その他

３）「天王寺区ロバの会」（平成２２年４月１日発足）への支援
認知症サポーター養成講座修了者の有志が集まり、認知症に関する学習を重ねて、天王寺区内の認知症の方やその家族が安心して生活できるよう、心に寄り添うボランティアの会として結成された。コロナ禍のため、今年度は定例会を１回開催し、これまでのふり返りと今後に向けての方向性を検討した。

４）「いきいき広場」の実施　各地域で、毎月１～４回実施
平成２９年度より高齢者の閉じこもり等による生活の不活発を予防し、要支援・要介護状態への変化を少しでも遅らせるために、各地域とともに地域における集いの場として「いきいき広場」を実施している。
実施場所：各地域の会館
実施内容：「いきいき百歳体操」と地域が行うプログラムを実施。
各地域と共催して、前半はいきいき百歳体操を行い、後半は地域のニーズに合わせたプログラムを実施している。

５）認知症サポーターフォローアップ講座の開催
認知症サポーター養成講座を修了された方を対象に、認知症介護指導者を講師に招き、「認知症になってもそれぞれの人生を生きよう」をテーマとした講座を開催した。

（５）職員の育成にかかる研修会等の実施

１）ビジネススキル研修（4/5, 6, 7, 8）	１名
２）ティーチング・コーチング（7/30, 11/19）	１名
３）新規採用職員研修（7/6, 7, 28）	１名
４）財務管理研修（10/6, 13）	１名
５）社会福祉施設職員人権研修（7 月～2 月）	５８名
６）コンプライアンス及び個人情報保護について（12 月）	４５名
７）第2期地域福祉活動推進計画とコロナ禍における地域福祉活動（11～12 月）	４３名
８）天王寺区歯科医師会主催研修（1/14）	１０名

（６）防災にかかる取り組み

１）防災検討会の実施
各種危機管理関係の検討会及び研修会の実施
１３回（内、１１回はアドバイザーによる講義・助言他）
災害対策本部訓練・災害ボランティアセンター設置運営訓練

２　社会福祉事業

（１）「天王寺愛あいプラン」（天王寺区地域福祉アクションプラン＝ＡＰ）の推進

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「アクションプラン推進事業」については中止とし、個々の地域福祉活動については感染予防対策を講じながら状況に合わせて実施することとなった。

１）会議等開催状況
各班会議
高齢班　　班会議　コロナ禍により休会
障がい班　班会議　コロナ禍により休会
子育て班　班会議　コロナ禍により休会
拡大推進委員会　　コロナ禍により休会

２）実施事業
①障がい者スポーツ「ボッチャ」その他への協力
・ボッチャ審判員養成講座
各地区ボッチャ大会の予定があったが、コロナ禍のため中止となる
②地域福祉啓発に向けた支援
・3.9.27　　地域福祉映画会開催「湯を沸かすほどの熱い愛」上映
③各地区子育て支援サークルへの支援・協力
感染拡大防止の観点から中止を検討する地域が多い中、状況を見ながら区全体で8回開催。開催時に企業からの寄付物品等を応援物品として届けた。
④ジュニアクラブ関係事業への支援・協力
・運営委員会　　３回　10/21,12/8,3/1
・運営委員会事務局会議　　３回　10/14,12/2, 1/19
・3.10.31　「天王寺の歴史にふれよう！～四天王寺と聖徳太子～」
（50人参加　会員：37人、運営委員：5人、事務局：7人、保護者：1人）
・3.12.19　「インターネットのトラブルから自分を守ろう！～スマホ・ケータイ安全教室～」
（27人参加　会員：12人、運営委員：6人、事務局：8人、保護者：1人）
⑤子育て愛あいフェスティバル事業への支援・協力

・運営委員会事務局会議（書面開催）
・運営委員会実行委員会（書面開催）
・子育て愛あいフェスティバル（中止）

（２）在宅福祉サービス事業の実施

１）車椅子貸出事業（通院・旅行等の外出、在宅で使用等）
車椅子貸出件数…１７８件（車椅子と一緒にレインコートを貸出…２８件）
２）福祉用具等貸出事業
・ボッチャ用具…　　７件
・体温計等衛生用品…１件
・モルック…　　１件
・プロジェクター…　１件
３）ゆうあい杖給付事業（歩行困難者で希望者へ配布）
給付件数…　　２０件

（３）高齢者福祉事業

１）金婚ご夫妻へお祝い記念品「夫婦扇子」を贈呈　３７組
＊お祝い記念品の「夫婦扇子」は、和宗総本山四天王寺様からのご寄贈
２）高齢者福祉月間運動の推進
・百歳高齢者お祝い訪問　※コロナ禍のため訪問せずお祝い品を郵送
満百歳を迎えた高齢者　１９名
区長・区社協会長から、国・区社協からのお祝い品を贈呈
お祝い品　　区社協より・・・・・ガラスフロート温度計
（参考）　　国（厚生労働省）・・内閣総理大臣祝状・銀杯

（４）区地域福祉活動支援事業

昨年度に引き続き、コロナウイルス感染拡大防止の観点から、地域福祉活動が中止されることが多かったが、コロナ禍でも地域でできることや、つながりを絶やさないためにできる支援を共に検討し取り組んだ。

１）気づけるランド～災害時の支援を考える～
地域ボランティア・住民を対象に、災害時における要配慮者への支援を考えるとともに、普段から取り組めることについて学ぶ取組み。

・4.1.7　気づけるランド①の運営者役向け事前研修
・4.1.12 気づけるランド①
～災害ボランティアセンター運営体験～
・4.3.10 第２回気づけるランド
～災害時における要配慮者の支援について～

２）地域サロンボランティア連絡会
地域の喫茶・食事サービス等で地域ボランティアとして活動されている方の

情報交換の場やサロン活動に役に立つ研修等を実施

・3.10.29　・「～楽しく学ぶ～多文化交流　お助け講座」
・3.11.30　・「チラシで想いを伝える講座」
・4.3.7　　・「失語症の理解と支援について」見守り相談室と共催

３）地域のこども支援ネットワークづくり

こどもの居場所、こどもの研修会に参加し、天王寺区内での支援に向けた情報収集を実施。

＜こどもの居場所連絡会の開催（４回）＞

・3.6.17　　「第一回こどもの居場所連絡会」
　・各団体による自己紹介及び活動内容（緊急事態宣言下での取組み）について
　・ライフ＆フードパントリー開催について
・3.10.7　　「第二回こどもの居場所連絡会」
　・新しく加入した２団体からご挨拶
　・こどもの居場所連絡会でつながり、協働で事業を実施することになった団体について
　・こどもの居場所発表会（案）について
・3.12.14　　「第三回こどもの居場所連絡会」
　・ライフ＆フードパントリーについて
　・こどもの居場所シンポジウムについて
　・こどもの居場所シンポジウムの際に実施するポスターセッションについて
・4.2.25、2.28　「第四回こどもの居場所連絡会」※団体の都合により、２５日に参加できる団体と２８日に参加できる団体がわかれたため、２日間にわけて開催した。
　・各団体の現在の活動について情報交換
　・「こどもの居場所シンポジウム」について最終確認
　・ポスターセッションについて

＜こどもの研修会に参加（４回）＞

・地域こども支援団体連絡会（主催：大阪市ボランティア市民活動センター）
　3.4.16　　「コロナ禍における活動への思いについて」
　3.6.18　　「学校とこどもの居場所活動について」
　3.8.20　　「大阪市こどもサポートネットとこどもの居場所」
　3.10.15　　「区内のネットワーク活動と区役所との連携」

＜こどもの居場所シンポジウムの開催＞

3.3.3　　「みんなに知ってほしい！～天王寺区のこどもの居場所～」

（92人参加　地域住民：76人、関係機関：8人、事務局：7人、講師：1人）

4）高齢者や障がい者等への見守り・つながり活動
コロナ禍により、外出自粛を余儀なくされた高齢者や障がい者等への支援活動を実施した。

① つながり通信の発行
コロナ禍の中でさまざまな情報を届けるために「つながり通信」を月１回のペースで発行し、情報を発信した。

② にこにこ元気パックの配付
区社協通信や関係機関からのチラシ、企業等からの寄付物品をセットにし、毎月各地域で行われている活動（配食・百歳体操・見守り活動等）で配付。外出できない高齢者等とのつながりを絶やさないためのツールとして提供。

③百歳体操の再開支援
感染予防対策を行い、再開に向けた助言や準備を実施。活動が実施できていない地域へは引き続き再開に向けて地域と共に検討を重ねた。

④地域活動リスタートセットの配付
マスク、消毒液、フェイスシールド、体温計等をセットにし、各地域活動が安心して再開及び継続できるよう配布を行った。

⑤コロナ禍でも集まるための取組みを提案
食事サービス、百歳体操、ふれあい喫茶で、簡単な体操やレクリエーションを実施し、介護予防やつながりを継続するための取組みの提案を行った。

5）コロナ禍で経済的またはつながりの貧困になっている方への支援
①日用品＆フードドライブ
11 月より、社協１階に専用のボックスを設置し、家庭で使いきれない未開封の食品や日用品、企業の余剰品等を対象として集め、福祉団体やこどもの居場所等、必要とされている方へ届ける活動を実施。

③ ライフ＆フードパントリー
7 月に 2 回、10 月以降は毎月最終の土曜日に、企業や団体や地域の方からの寄付物品（食品・日用品等）をコロナ禍で困窮している世帯へ届ける取組みを実施。会場では相談会も開催した。

（５）福祉教育支援事業

１）区内各学校・地域等における福祉教育支援（認知症サポーター養成講座等）

	日　時	受　講　団　体　等	人数
1	3.7.6	大阪信用金庫本店営業部　認知症サポーター養成講座	14
2	3.7.20	大阪信用金庫玉造支店　認知症サポーター養成講座	10
3	3.7.26	大阪区民カレッジ　認知症サポーター養成講座	26
4	3.9.30	定例　認知症サポーター養成講座	6
5	3.10.29	定例　認知症サポーター養成講座	11
6	3.11.27	定例　認知症サポーター養成講座	26
7	3.12.24	定例　認知症サポーター養成講座	10
8	4.1.18	そんぽの家真田山　認知症サポーター養成講座	12
9	4.1.19	日本生命保険契約者等　認知症サポーター養成講座	8
10	4.2.2	夕陽丘中学校福祉教育 （当事者の講話、車いす・アイマスク・白杖体験）	175
11	4.2.4	天王寺図書館　認知症サポーター養成講座	7
12	4.3.30	四天王寺学園インターアクトクラブ福祉教育 （車いす体験、まちづくりについてグループワーク）	5

（６）善意銀行の運営

区民等からの預託（金銭・物品）を受け、申込があれば審議のうえ払出（活用）を行う。

１）金銭預託・払出

○預託件数　　２件

預　託　者	預託金額（円）
吉井　義隆	１００，０００
長岡酒店	２０，６８６

○払出件数　　１０件（１団体、９グループ）

払出先（グループ名・団体名）	金　額（円）
天王寺区子ども会育成連合協議会	１００，０００
ボランティア９グループ（福祉ボランティア活動応援資金） ・絵本の会天王寺　・天王寺おはなし「ぼちぼち」 ・天王寺区食生活改善推進員協議会 ・難波宮と大阪・熊野街道連絡協議会 ・Butterfly M&K　・天王寺区グリーンキーパーズ ・ボランティアグループアネモス文庫 ・みんなで学ぶ教室　・ボランティアグループあい	２５０，０００
合　　計	３５０，０００

２）物品預託・払出
　○預託件数　　８件
　○払出件数　　７件

預　託　者	預託物品	払　出　先
大島　美穂	子ども用車いす	区社協（貸出し用）
森下　雅三	米　２７０ｋｇ	施設４か所、区社協(ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾝﾄﾘｰ)
鈴木　順子、藤井　妙子 可児　澄子、中江アヤエ 北川　昭子、匿　　名	着物、反物、 はぎれ、糸、 ボタン等多数	区社協 （ものづくり会材料）

（７）助成事業、団体支援等

１）福祉活動支援事業・青少年育成団体等への支援の実施
　・区青少年指導員連絡協議会との協力
２）身体障害者等福祉対策事業
　・区身体障害者団体協議会との協力
３）青少年福祉対策事業
　・区成人の日記念のつどい実行委員会への参画
４）精神保健福祉事業
　・精神障がい者関係団体との協力
　・ＮＰＯ法人「精神障害者支援の会ヒット」むつみ工房、ゆめくらぶ、あしすとの運営営委員会へ運営委員として出席
５）その他福祉団体事業の助成
　・区更生保護女性会（犯罪予防活動・研修活動）
　・区食生活改善推進員協議会（講習会等）
　・区体育厚生・スポーツ推進協議会（スポーツフェスタ等）

（８）社会福祉法人大阪府共同募金会　天王寺地区募金会事務局

１）理事会（役員会）　・3.5.13　（書面開催）
　　・3.9.9　（書面開催）

２）配分金の配分内訳（配分金合計 1,088,649 円）
　・地区社協への助成　652,700 円
　・高齢者食事サービス委員会への助成　180,000 円
　・区社会福祉協議会活動助成　255,949 円
　（活動内容：高齢者月間事業(百歳訪問)・ゆうあいだより発行など）
３）周知・啓発・街頭募金活動
　・ 3. 9.15　小学校校長会議で、各校に共同募金周知用壁新聞の掲示依頼
　・ 3. 7.31　ゆうあいだより No.67　記事掲載
　・ 3.10. 1　街頭募金活動（近鉄大阪上本町駅からユフラ広場付近周辺）
　・ 3.10. 4　街頭募金活動（近鉄大阪上本町駅からユフラ広場付近周辺）
　・ 3.10.21　街頭募金活動（四天王寺境内）

・ 3.10.31　ゆうあいだより No.68　記事掲載
・ 4.2.13　　ゆうあいだより No.69　記事掲載

（９）日本赤十字社大阪府支部　天王寺地区事業の金銭管理の支援

１）社資の受付と送金に関する事務：社資の受付後、随時日赤大阪府支部に送金
２）地区分区交付金に関する事務
３）収支伝票の作成及び管理簿への記載
４）会計処理

（１０）あんしんさぽーと事業（日常生活自立支援事業）

相談件数 １，４７６件	認知症高齢者	９９５件
	知的障がい者	１１５件
	精神障がい者	３６０件
	その他（重複障がい、高次脳機能障がい）	６件
委託契約件数 ２５件	認知症高齢者	１５件
	知的障がい者	１件
	精神障がい者	９件
	その他（重複障がい、高次脳機能障がい）	０件

（１１）生活福祉資金貸付事務事業

自立支援策として低所得者、障がい者、高齢者世帯に対し資金の貸し付けと必要な相談支援を行う生活福祉資金制度の受付窓口業務を平成２６年４月から実施。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、収入が減少・失業した方がいる世帯を対象とする特例貸付を令和２年３月２５日から開始した。緊急小口資金、総合支援資金の２種類の貸付を行っているが、コロナ禍の長期化とともに受付期間の延長が続いており、現在８月３１日まで受付期間の延長が決定されている。

１）生活福祉資金
・相談件数
電話　８８件、窓口　８２件　合計１７０件
・償還等の対応件数
電話　４件、窓口　　２件　合計　　６件
２）臨時特例つなぎ資金（相談件数）
電話　　０件、窓口　　０件　合計　　０件
３）総合支援資金（相談件数）
電話　　０件、窓口　　０件　合計　　０件
４）新型コロナウイルス感染症特例
・相談件数
緊急小口資金
電話　５３１件、窓口　３０４件　合計　８３５件

総合支援資金
電話　８２０件、窓口　４２７件　合計　１，２４７件

・申請受付件数

緊急小口資金　５７５件
総合支援資金（初回）　５１５件
総合支援資金（延長）　１４１件
総合支援資金（再貸付）　６２０件

（１２）地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

１）地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

【見守り相談室】

地域に埋もれた要援護者を把握し、地域の見守りや適切な支援につなげるとともに、孤立世帯への支援や、地域の支え合いを強化し、安心して暮らせるまちづくりを目的とした３つの機能を持つ。

機能①『要援護者名簿にかかる同意確認と地域の見守り活動への支援』

行政と地域が把握する要援護者情報を集約し、地域等への情報提供にかかる本人同意の確認(郵送または訪問)を行うとともに、地域の見守り活動支援等につなげた。また、災害時の避難支援の準備にも役立てるため、防災検討会への参画及び区との連携強化を図った。区と協働し安心安全ミニカードの作成を行った。

◆新規対象者への同意確認書類の発送

(高　　齢) 要介護３以上または要介護２以下で認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上
(障がい1) 身体障がい者１・２級
(障がい2) 知的障がい者（療育手帳Ａ)、精神障がい者１級、視覚・聴覚障がい３・４級、音声・言語機能障がい３級、肢体不自由３級、難病

地区名	発　送　日	発　送　数				計	同意者数
		高齢者	障がい１	障がい２	難病		
天王寺	4月1日	23	2	4	0	29	14
	9月1日	28	4	4	0	36	19
大　江	4月1日	21	3	1	0	25	11
	9月1日	26	4	1	0	31	17
聖　和	4月1日	28	9	3	0	40	22
	9月1日	20	6	2	0	28	15
五　条	4月1日	15	3	2	0	20	10
	9月1日	12	2	0	0	14	6
桃　丘	4月1日	14	4	1	0	19	10
	9月1日	7	5	1	0	13	6
生　魂	4月1日	11	5	0	0	16	6
	9月1日	21	3	0	0	24	10
桃　陽	4月1日	32	2	0	0	34	18
	9月1日	16	1	2	0	19	11

味　原	4月1日	22	4	1	0	27	16
	9月1日	13	3	1	0	17	10
真田山	4月1日	38	6	4	1	49	16
	9月1日	52	5	6	0	63	38
合　　計		399	71	33	1	504	255

◆各地域団体等への要援護者地域提供リスト件数

地域団体等への情報提供にかかる本人同意を得た対象者の名簿を作成し提供した。

地区名	提　　供　　団　　体	件　数
天王寺	天王寺連合振興町会・天王寺地区社会福祉協議会 天王寺地区民生委員児童委員協議会	１４４人
大江	大江ふれあい協議会・大江地区民生委員児童委員協議会	２０２人
聖和	聖和連合振興町会・聖和地区民生委員児童委員協議会	２１８人
五条	五条地域活動協議会・五条地区民生委員児童委員協議会	１５６人
桃丘	桃丘地域活動協議会・桃丘地区民生委員児童委員協議会	１０４人
生魂	生魂地域活動協議会・生魂地区民生委員児童委員協議会	１３６人
桃陽	桃陽連合振興町会・桃陽地区民生委員児童委員協議会	２４０人
味原	味原地域総括会・味原地区民生委員児童委員協議会	１４４人
真田山	真田山地域活動協議会・真田山地区民生委員児童委員協議会	３０３人

合計　１，６４７人

機能②『孤立世帯への専門的対応』

孤立死リスクの高い要援護者（セルフネグレクト等）で地域から孤立、福祉サービスの利用を拒否される方に対して訪問し適切な支援へとつなげた。

○相談件数：1,671 件　相談実人数：486 名（男 160 名、女 323 名、不明 3 名）

○地域別ケア会議・自立支援協議会・就労支援事業所運営委員会・ケース会議等の参加：20 件

属性	要支援・要介護の高齢者	要支援・要介護以外の高齢者	身体障がい者・児	知的障がい者・児	精神障がい者・児	発達障がい者・児
	138	307	12	2	10	1
	引きこもり	生活困窮者	難　病	ごみ屋敷	子育て中の保護者	その他
	1	9	1	0	1	4

機能③『認知症高齢者等行方不明時の早期発見』

行方不明の恐れのある方等を事前に登録し、登録者が行方不明になった時、その方の氏名・特徴等を区内協力者にメールで情報を配信し、早期発見・保護につなげた。

（※但し、休日夜間は夜間事業者対応）

○事前登録者数：56 名（男 25 名・女 31 名）　※令和４年３月末現在

○令和３年度新規登録者数：9 名（男 3 名・女 6 名）

○協力者数：119 件

協力者内訳	事業受託機関	介護保険関係団体	民生委員・児童委員	薬局	その他
	23	22	68	6	0

○警察からの情報提供：29 件（要援護者名簿登録者：16 件　その他：13 件）
情報提供により、状況確認し機能③登録勧奨及び適切な支援につなげた。

◆『見守り協力者連絡会・サロンボランティア連絡会　合同研修会』の開催

「失語症の理解と支援について」及び「情報交換会」を実施、協力者や関係機関の日頃の見守り活動状況について意見交換や情報共有を行い、課題把握や連携を深めるために開催した。

開催日時：令和４年３月７日（月）13：30～15：30
場　　所：天王寺区民センター
講　　師：デイサービスことばの泉　施設長　言語聴覚士　石原　明美 氏
参加者数：４１名

◆「見守り活動ワークショップ」の開催

要援護者名簿を活用し地図にマッピングを行った。
対象者の把握と地域で気になる方についての情報共有と地域課題について話し合った。

開催日時：令和４年３月２５日（金）11：15～12：30
場　　所：桃丘会館　　参加人数：１３名

２）区独自事業『独居高齢者等見守りサポーター事業』

区内の７５歳以上の独居または高齢者世帯への、ボランティアによる月１回程度の見守り訪問事業の事務局を担っている。

対象者：４月２日～翌年４月１日までに７５歳になる独居または高齢者世帯で見守りを希望及び介護保険サービスを利用されていない方

※８０歳の方を対象に、再度、見守り希望の同意確認を実施。

（業務内容）
・郵送での希望確認及び訪問面談にて、地域別リストの作成。
・各地域ボランティアリーダー活動報告書の集約、および区との連絡調整等事務処理。
・ＣＳＷによる対象者への見守り訪問・要援護者へのアウトリーチ

訪問対象者数：387人(336世帯)　　※令和４年３月末現在

地域名	天王寺	大　江	聖　和	五　条	桃　丘	生　魂	桃　陽	味　原	真田山	計
人　数 (世帯数)	35 (32)	46 (40)	64 (55)	44 (35)	37 (32)	18 (16)	68 (60)	30 (25)	45 (41)	387 (336)

○地域ボランティアとの情報共有及び対象者の状況確認を行い関係機関との連携を図った。

◆『見守りボランティア連絡会』の開催

独居高齢者等見守りボランティアリーダーおよびボランティアと情報交換を行い日頃の見守り活動での課題やお互いの活動についての情報共有を深め、今後の活動に役立てるため開催した。

地域名	開 催 日	場　所	参加人数	備考
大江	令和４年１月 24 日	ゆうあい	１４人	女性部長
桃丘	令和４年１月 28 日	桃丘会館	１３人	民生委員
五条	令和４年１月 31 日	ゆうあい	１９人	女性部長
聖和	令和４年３月 30 日	聖和会館	１２人	民生委員
ボランティア リーダー連絡会	令和３年 12 月 20 日	ゆうあい	２２人	研修会 「発達障がいについての理解を深める」 講師：つぼみの会

３）その他

◆事業周知

・区内マンション１３か所の管理人に相談窓口の周知

・天王寺図書館にチラシを設置

・区役所の区内掲示板及び区内郵便局 12 局にポスター掲示

（１３）生活支援体制整備事業《市からの特名事業》

今後さらに増加する高齢者の生活課題と必要な支援に応えるため、住民主体の取り組みを始め、ボランティアやＮＰＯ、民間企業など、多様な事業主体による生活支援・介護予防のための取り組み及び提供体制の構築を支援している。

１）ニーズと地域資源の把握・ネットワークの構築

・高齢者の生活ニーズや地域資源の把握

包括・ブランチ連絡会議、地域別ケア会議、事例検証会議等へ出席し、生活課題や地域資源を把握した。

・協議体会議・ワーキングの設置

7/12 に区役所・地域包括支援センターとともに協議体会議を開催し、事業の方針について意見交換を実施した。

また、ワーキングとして、1/25 に「つながり情報交換会」を開催し、天王寺区にどのような活動・居場所があれば、高齢者にとってより住みやすいまちになるのかについて、地域ボランティアや理学療法士などの専門職、郵便局、お寺などにご参加いただき、話し合いを実施した。

そのほかでは、「地域でのちょっとした困りごとについての打合せ」「男性のセカンドライフを考える会」を逐次実施した。

２）地域資源・サービスの開発等

・「昭和男の体操教室」の開催

５、６、８月は緊急事態宣言のため開催を中止したが、６月は体操教室に代わる活動として、屋外でできるまちあるきを２回実施した。それ以外の月は各月２回開催している。

また、地域包括支援センターや
見守り相談室から利用者へ紹介、チラシを見て等の周知から、新たな参加者が増加している。
そのほか、体操教室の後に参加者主導で脳トレやモルック等を実施されたり、体操教室とは違う日に、有志のメンバーでお花見が実施され、交流が深まっている。
また、各月１回参加者数名と「男性のセカンドライフを考える会」を実施し、体操教室のサークル化について意見交換し、計画的にサークル化を目指している。

・生活支援サービスの創出
桃陽地域において、令和２年度、買い物に困っている高齢者がいないか調査するため、１１月の食事サービス（配食）の際に、街頭アンケートを実施。その結果、買い物に困っている人は少ないが、電球交換等ちょっとした困りごとがある人が多いことがわかった。令和３年度ではさらに、ちょっとした困りごとについての詳細なアンケートを「高齢者食事サービス」、「筆ヶ崎住宅百歳体操」、「桃陽花の会」、「独居高齢者見守りサポーター事業対象者」、「桃陽寿会　グランドゴルフ」の計１３７名へ実施。比較的元気な人でも、「家具移動や電球交換等の力仕事」のちょっとした困りごとがある人が多くいることを把握し、桃陽地域別ケア会議にてアンケート結果を住民と共有した。来年度はちょっとした困りごとを支えあう仕組みを検討するコアメンバーを募り、実施に向けて仕組みを考えていく。

・大江逢阪クラブ百歳体操
コロナ禍を考慮し、９月まで中止とされ、１０月から再開した。１１月、１２月も実施できたが、１，２月はコロナ禍により中止。３月は実施できた。大江逢阪クラブ主体で月１回開催。後方支援として、参加者が自ら実施できるよう、プロジェクター操作の指導等を実施した。１１月から体操終了後に参加者主導でモルックを実施している。
・光明寺を活用した百歳体操の場づくり（真田山地域）
１２月に立ち上げ、１２月から月４回の百歳体操が開始されている。後方支援として、「百歳体操を実施したいが、機材がないので助成金を申請したい」と相談を受け、助成金申請の支援を実施した。また、ボランティア主体で実施できるよう、随時助言等の後方支援を行っている。

・Zoom 講習会の開催

９月と１月に４回連続講座「60 代から始める！ZOOM 講習会」を開催。定員の２倍以上の申し込みがあり、Zoom を学びたい高齢者が多数いることがわかった。

また、１０月から各月一回、Zoom を活用した居場所づくり「Zoom ふりかえり

会」をしている。ストレッチ体操や各自の趣味紹介、クイズ大会等を実施し、交流と Zoom の使い方を深めている。

今後は地域へ Zoom を教えに行くなど地域と交流できるような機会をつくり、「教えられる側」から「教える側」へと移行できるように支援し、活躍につなげていく。

・「ものづくり会」の開催
９月から高齢者の介護予防・集いの場として、各月１回（３月のみ２回)、ものづくりを通して、いきいきとした生活を続けてもらえるようものづくり会を開催。参加者の主体性をはぐくむため、参加者同士で教え合えるよう調整した。

３）活動の場の発掘・開発
施設や市営住宅の集会所、お寺等について、協議体や関係機関、地域住民より情報収集を行い、利用の可否を確認した。

４）サービス実施情報の周知等
・生活支援体制整備事業通信
「つながりお届け便」を発行
(№２、３、４）
・発 行 日　３．６月（Vol.1)、
３．９月(Vol.2)
３．１２月(Vol.3)
４．３月（Vol.4)
・発行部数　各２，５００部
生活支援体制整備事業の役割・活動を記載した通信を作成し、効果的に配布した。
今後も随時配布していく。

（１４）生活困窮者自立相談支援事業

経済的困窮はもとより就労や家族問題など､生活に課題を抱える方への相談窓口を、（社福）大阪自彊館との共同体で平成２７年度より受託。
区役所４階に開設している「サポート天王寺」を相談窓口とし、対応が困難で多岐に渡る相談に丁寧に応じている。

１）男女別内訳 新規相談受付件数（331 件）

性別	男	169	女	161	不明	1

２）年齢内訳

年齢別内訳	０　～　１０代	7
	２０代	42
	３０代	56
	４０代	81
	５０代	65
	６０代	21
	７０　～　９０代	54
	不　　明	5

３）相談経路

新規相談経路	本人（来所）	298
	本人（電話・メール）	4
	家族・知人（来所）	4
	家族・知人（電話・メール）	2
	郵送	2
	関係機関・関係者紹介	17
	その他	4

４）相談受付内容

相談内容	件数	比率(%)	相談内容	件数	比率(%)
病気や健康、障害のこと	10	3.0	家族との関係について	8	2.4
家賃やローンの支払いのこと	104	31.4	ひきこもり・不登校	3	0.9
税金や公共料金等の支払について	2	0.6	子育てのこと	0	0.0
収入・生活費のこと	86	26.0	ＤＶ・虐待	2	0.6
債務について	2	0.6	介護のこと	1	0.3
食べるものがない	17	5.1	住まいについて	81	24.5
仕事探し、就職について	9	2.7	地域との関係について	1	0.3
仕事上の不安やトラブル	1	0.3	その他	4	1.2

５）相談状況について

・新規相談件数は、昨年度から半減近い件数となっているものの、コロナ禍前と比較しても約２倍の件数である。
・住宅確保給付金に関する相談内容が多くを占めており、経済的に困窮した状況は今尚続いている。
・食糧支援の件数が昨年末頃から増えている。

（１５）老人福祉センター事業（高齢者の生きがいと健康づくり推進事業含む）

＜利用状況＞

新型コロナウイルス感染症対策のため、大阪市の指示により令和３年４月２６日から６月２０日の間は臨時休館。以後は感染症拡大防止対策を図りながら、順次事業やサークル活動を再開。

利用者延べ人数　１７，７９９人（令和４年３月末）

内訳　男性５，９８３人、女性１１，８１６人

＜事業内容＞

１）生きがいづくり活動

① 教養講座

・スマートフォン教室（各カリキュラム）、中国語会話教室など

② サークル活動支援（23 サークル）

・歌体操、写真、書道（一般）、書道（研究会）、民謡、詩吟、俳句、カラオケ、

英会話、ヨガ、新舞踊、俳画、編物、卓球、ストレッチ、大正琴、フォークダンス、民踊、太極拳、ぼちぼち野郎会、グリーンコーラス（区老連）

２）高齢者の自主的な地域福祉活動支援

・各種イベントの体験コーナーブースへの参加や舞台出演、地域グランドゴルフクラブとして活動

３）健康づくりと介護予防の促進

① 健康づくり講座

・体の歪みを正す運動療法、ヤクルト健康セミナー、すこやかシニア教室、ニコニコ健康体操、いきいき百歳体操、昭和男の体操教室、認知症予防講座、楽しい手話体験講座、薬が飲みやすくなる講座、楽しい筆文字年賀状講座、クリスマスミニリース作り講座、フラダンス体験講座

③　健康・体力づくり行事

・パークゴルフ大会、歩こう会

４）相談・情報提供機能の充実

・区広報誌天王寺・ゆうあいだより掲載、区掲示板センター利用促進ポスター掲出、センターだより毎月 1,250 部発行（地域会館・関係機関に配布）、ホームページ、フェイスブックなどＳＮＳも積極的に活用しての広報活動

５）老人クラブ活動支援

・「高齢者の生きがいと健康づくり推進事業」を老人クラブ連合会と共催で取り組み、区老人クラブ大会、天王寺区文化の集いなど事業への協力。センターとの取り組みを通じ、区老人クラブ活動を広報し、会員獲得と組織強化に協力

６）合同行事

・区老連・老セン合同作品展、天王寺区民ギャラリー作品展

７）その他

・いきいき広場を区内地域会館で毎月１回実施、企画立案運営委員会の開催

３　公益事業・介護保険事業

（１）居宅介護支援事業

介護支援専門員（ケアマネジャー）が、要介護の方のご希望や心身の状態に応じた適切なサービスの提案や利用調整、ケアプラン作成を行い、安心してご自宅で生活を送れるように支援を実施。

年間ケアプラン作成数：要介護　６９６件、　要支援　１２件

契約利用者数：要介護　６１件、　要支援　１件（令和４年３月末現在）

（２）地域包括支援センター事業

１）包括的支援４事業

1. 総合相談支援

高齢者やその家族からの介護、福祉などに関する相談を総合的に受けるとともに、必要に応じて訪問し実態把握を行い、必要な支援やサービスにつなげる。

ア　包括の相談件数

	項　　目	件　　数
総合相談	訪問・出張による相談	１，７７１
	電話による相談	７，４９２
	来所による相談	５０７
	その他による相談　メール、郵送、FAX	８９３
	延べ相談件数 ※延べ件数のうち、認知症疑いのある方の人数	１０，６６３ ※３，３３５
	相談実人数	１，２０９
相談内容	①介護サービスに関すること	４，７２０
	②経済・生活問題	１，４４１
	③介護予防サービスに関すること	１，３８６
	④保健・医療サービスに関すること	７２０
	⑤家族・家庭問題	３３０
	⑥その他	６６１
	⑦福祉サービスに関すること	４１９
	⑧虐待に関すること	３６２
	⑨介護予防事業・日常生活支援総合事業に関すること	３９３
	⑩成年後見制度の活用に関すること	２５５
	⑪生きがいづくり	２６
	延べ相談件数	１０，６６３

イ　地域交流の場での総合相談の実施や啓発活動

・９地域の配食サービスやふれあい喫茶、小宮ふれあい広場と喫茶ゆうゆうで出張相談件数　　８３件

・協力医療機関(新型コロナウイルスワクチン接種会場)でのにこにこ元気パックの配布

・“つながり通信”や“広報ゆうあい”を活用し介護保険制度やサービス流れについてシリーズ①～④で紹介

ウ　医師会や消防署との合同企画；要援護高齢者等の救急時の備え啓発グッズの作成

・合同企画検討会

日　時：令和３年９月８日/１１名、令和３年９月２８日/ ５名

参加者：消防署救急担当、区保健福祉課・市民協働課、包括、見守り相談室

内容：救急時早期に必要な医療等につなぐための啓発物の作成配付について

2. 権利擁護業務

高齢者虐待の早期発見・防止、成年後見制度の利用促進、消費者被害防止のために医療や介護関係者、地域住民に対し、啓発活動や勉強会などを実施。

ア. 高齢者虐待受理件数　　２２件(うち包括の受理１０件、虐待判断件数６件)

サービス利用調整会議　４３回 参加、専門相談　３回 参加

イ．成年後見受理件数　　７件（専門職派遣　１件）

ウ．介護保険事業者向け成年後見制度に関する研修会(zoom、ハイブリット)

・日及び人数　　令和３年７月２１日　３４名
・内容及び講師　成年後見制度～具体事例の紹介
司法書士　中井明子、小林尚子

エ．介護保険事業者向け高齢者虐待・成年後見研修会
・日及び人数　　令和４年１月１９日　２７名
・内容及び講師　高齢者虐待の気づきと通報の重要性　弁護士 小山操子

オ．　にこにこ元気パックに高齢者虐待防止啓発チラシを入れ地域行事で配布

カ．居宅介護支援事業者連絡会にて高齢者虐待防止啓発リーフレット配付

3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援

関係機関と連携推進や介護支援専門員等を支援するため会議などを開催。

ア　会議開催状況・地域ケア会議の開催回数

地域ケア会議（個別ケース検討）	３３回
地域ケア会議（地域別ケア会議）	１４回
地域ケア会議（事例検証会議）	３回
地域ケア会議(見えてきた課題対応のための会議)	３回
包括・ブランチ連絡会議の開催	１２回
地域密着型サービス運営推進会議への参加	１７回
その他ネットワーク構築のための会議の開催・参加	２１６回
区地域包括支援センター運営協議会への参加	３回
サービス利用調整会議	４３回
地域等との関係づくり	１００回
地域ケア会議以外の個別ケース会議	８回

イ　包括的・継続的ケアマネジメント

介護支援専門員個別相談件数	１，８１３件
居宅介護支援事業者連絡会の開催・参加	１８回
介護支援専門員への研修会の開催支援	５回

ウ　各会議の概要(抜粋)

①“地域別ケア会議”の具体的な取り組み

区内各地域で会議を順次開催して、高齢者支援に携わる地域支援者と関係者で、高齢者の生活・支援状況の共有、高齢者支援の課題の確認や解決方法の検討、顔の見える関係づくりを行い、高齢者や住民が安心して生活できる地域づくりを支援する。

○桃陽地域「桃陽地域別ケア会議」定例４回、打合せ３回

定例会の開催概要

・日及び参加人数

令和３年４月２１日２３名、令和３年１０月１５日５名

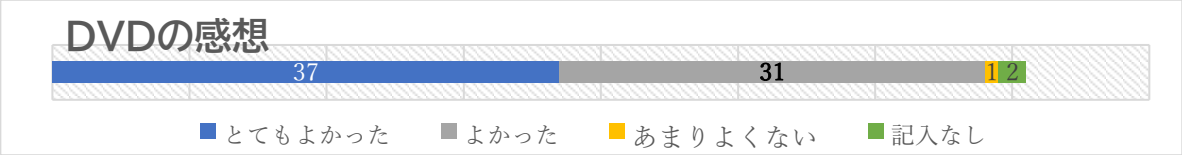
令和３年１０月２２日２５名、令和３年１２月１５日２５名

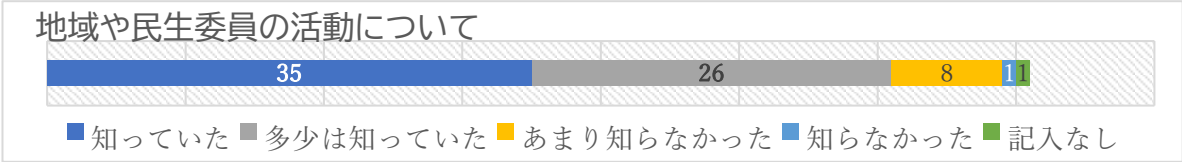
・参加者　地域（民生委員・主任児童委員・連合町会役員)、区保健福祉課、区社協（見守り相談室、地域支援、包括)、ブランチ

＊今年度の取り組み（見えてきた課題に対する取り組み）

“わがまち桃陽再発見”レター 町会毎の視聴及びアンケート　４町会

・目　的　“独居の方や家族への早期支援”や地域活動の担い手発掘のため『町会や民生委員の活動を伝える“わがまち再発見レターDVD”』を町会毎で啓発する。
・啓発先　東筆・細工谷南・堂ヶ芝・細工谷北町会班長会、老人会、マンション
・アンケート回答数　７１（東筆 17、細工谷 21、細工谷南 8、堂ヶ芝 13）
・アンケート結果（一部抜粋）





〇桃丘地域「桃丘地域別ケア会議」　臨時会１回、打合せ１回
・日及び人数　令和３年１１月２６日　１１名
・内　　容　地域活動の状況及び支援実績報告、地域別ケア会議について
・参　加　者　民生委員、区保健福祉課、包括・ブランチ

＊今年度の取り組み（見えてきた課題に対する取り組み）

大阪市立天王寺図書館とのコラボ 認知症に関するの啓発活動 について
・“高齢者と認知症にやさしい本棚”常設コーナーの啓発
・認知症サポーター養成講座及び出張相談の実施

〇天王寺地域「天王寺地域ケアネット委員会」　定例２回　打合せ２回
・日及び人数　令和３年６月２５日１２名、令和３年１１月２６日１４名
・内　容　認知症初期集中支援チームの取り組み及び意見交換、課題対応取り組み（マンションへの周知活動）共有
・参加者　地域（連合会長、高齢者食事サービス委員長、福祉相談員、地区ボランティアリーダー、主任児童委員、民生委員）、区保健福祉課、区社協、オレンジ、包括

〇生魂地域「生魂地域民生委員連絡会」定例１回　打合せ１回
・日及び人数　令和３年１０月１４日１４名
・内　容　孤立しやすい介護者への支援をテーマに、「和みの会」会長を招き意見交換、マンションへの周知活動状況共有
・参加者　地域（民生委員、主任児童委員）、介護者の集い「和みの会」会長、薬局、主任介護支援専門員、区保健福祉課、ブランチ・包括

○五条地域「五条地域民生委員連絡会」定例１回、打合せ１回

・日及び人数　令和３年１１月１０日１９名

・内　容　コロナ禍での地域活動に関する意見交換等

・参加者　地域（民生委員・主任児童委員、町会長、社協会長)、区保健福祉課、包括

○大江地域　地域別ケア会議　定例１回

・日及び人数　令和３年１２月２０日１５名

・内　容　大江地域ケア個別会議と見えてきた課題の報告、意見交換

・参加者　民生委員、区保健福祉課、包括

○聖和地域　地域別ケア会議　　臨時会２回

・日及び人数　令和３年７月３１日１６名、令和３年１１月２４日１１名

・内　容　聖和地域ケア個別会議報告及び見えてきた課題及び意見交換
課題対応取り組み“昭和男のロマン喫茶”（コロナ禍により中止）

・参加者　１回目　民生委員・主任児童委員、区社協、包括
２回目　連合町会役員、包括

○真田山地域　地域別ケア会議 定例会１回　打合せ１回

・日及び人数　令和２年１２月９日　１８名

・内　容　地域ケア個別会議報告及び見えてきた課題の報告、意見交換

・参加者　地域（民生委員・主任児童委員)、区保健福祉課、包括

②事例検証会議の開催

支援課題のあるケース検討の場「地域ケア個別会議」や、要支援１・２の人の自立支援のための検討の場「自立支援型ケアマネジメント検討会議」から挙がった課題をＳＶ等より助言を受け、課題や今後の取り組みをすすめる。

・日及び人数　令和３年９月２９日　/８名、令和４年１月２０日/１４名

・内　　容　課題対応取り組み「タオル体操」振り返り/「成年後見人に関する課題や在宅か施設か検討事例」意見交換、SV の助言

・講　　師　森ノ宮医療大学松下太先生/関西福祉科学大学橋本有理子先生

・助　言　者　医師会、歯科医師会、薬剤師会、理学療法士会

・参　加　者　在宅医療 Co、生活支援 Co、オレンジ、区保健福祉課、包括

③自立支援型ケアマネジメント検討会議

○会議開催回数及び事例検討数、参加者

・会議　月１回　計１２回、事例検討数　３５ケース

・参加者　介護支援専門員、訪問看護、通所介護、福祉用具、助言者(医師、理学療法士)、区保健福祉課、包括

＊今年度の“見えてきた課題”に対する取り組み

○介護支援専門員資質向上研修：自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント

・日/人数　令和４年３月１１日　/３７名

・内　容　自立支援に向けた介護予防ケアマネジメント～フレイル予防の視点

・講　師　森ノ宮医療大学作業療法学科　松下　太　先生

④介護事業者のスキルアップや多職種連携のための取り組み

○令和３年度介護保険報酬改定について(Zoom)

・日/人数　令和３年４月２１日/３８名

・講　　師　　ナーシングケアパートナーズ代表　中村光児

○合同防災研修会(Zoom)

・日/人数 令和３年９月１７日/３８名
・内　　容　　事業継続計画(BCP)作成に関する取組み発表
・講　　師　　KZ 総合防災企画　　黒田　和伸 先生

○薬剤師会や実習生を対象とした地域包括ケア研修会 講師

・日/参加数　令和３年４月２２日/２７名、令和３年７月３１日/２２名
令和３年１１月６日/２３名

⑤保健福祉センターや主任介護支援専門員、地域関係者との地区踏査及び報告会

○地区踏査

日時/人数
・真田山地域　令和３年１０月２０日/５名、
令和３年１０月２７日/８名
・味原地域　　令和３年１０月２５日/６名
・生魂地域　　令和３年１０月１日/９名
・天王寺地域　令和３年１１月４日/６名
・聖和地域　　令和３年１１月１２日/６名
・桃丘地域　　令和３年１１月１７日/６名
・大江地域　　令和３年１１月２９日/７名
・五条地域　　令和３年１２月１５日/８名
・桃陽地域　　令和３年１２月２２日/１１名

参加者内訳：主任介護支援専門員、連合町会長、地区社協会長、民生委員、区保健福祉課、生活支援 Co、包括・ブランチ

○高津圏域地区踏査発表会

日/人数 令和３年１２月２３日/１３名
参加者　地域の主任介護支援専門員、民生委員長、区保健福祉課、生活支援 Co、包括・ブランチ

4. 介護予防ケアマネジメント

基本チェックリストにより事業対象者と判断された方や要支援と認定された方のケアプランを作成・支援。

ア　介護予防ケアプラン作成件数

自包括作成件数	延べ	９９２　件
委託先作成件数	延べ	４，３１０　件

イ　第１号介護予防支援ケアプラン作成件数

自包括作成件数	延べ	１，０３２　件
委託先作成件数	延べ	２，５２９　件

ウ　住宅改修支援事業　　４件

エ　その他
・救急時の備えとして作成した啓発グッズを全利用者へ配付
・自立支援のために作成したタオルで体操チラシの配付

２）その他

ア　出前講座の開催　計７回

地域の配食サービスやふれあい喫茶、老人クラブより依頼あり、介護予防や認知症に関する講座を開催。

イ　認知症サポーター養成講座での啓発活動　定例４回、臨時２回

ウ　和みの会(介護者家族の集い)活動への協力・開催支援６回

エ　啓発事業

○つながり通信による啓発活動

介護保険サービスの流れシリーズ①～④まで掲載

○広報ゆうあいによる啓発活動

家族介護者の集い「和みの会」の案内

３）家族介護支援事業

ア　家族介護者「成年後見をもっと知りたい人のための講演会」開催

・日及び人数　令和３年１１月２７日

・講　　師　大阪弁護士会　加藤智子

（３）認知症強化型地域包括支援センター運営事業

１）区認知症施策推進会議の事務局

①天王寺区認知症支援関係者ネットワーク会議（組織代表者）の開催　年２回

第１回　令和３年　５月２０日　※書面会議　２２名

・内容　オレンジサポーター活動促進事業の報告他

第２回　令和３年　７月　２９日　※書面会議　２２名

・内容　昨年度の認知症にかかわる取り組みの情報集約他

②認知症初期集中支援推進事業関係者会議（実務者）年４回

第１回　令和３年　６月１１日　※書面会議　１６名

・内容　昨年度の取り組み状況や課題、オレンジパートナーの案内他

第２回　令和３年　９月　９日　※zoom　１６名

・内容　事業周知活動とコロナ禍の相談件数推移他

第３回　令和３年１２月２０日　※zoom　１５名

・内容　認知症初期集中支援チーム・推進員が支援するケースの支援課題

第４回　令和４年　３月１４日　参加人数１５名

・内容　地域支援推進員の取り組み

２）ブランチや認知症初期集中支援推進事業の取り組み等への後方支援

①地域ケア個別会議への参加・助言　　１７回

②認知症初期集中支援推進事業「チーム員会議」への参加・助言　１２回

③認知症ライフサポート研修企画、開催(Zoom、jamboard グループセッション)

○多職種による認知症ライフサポート研修(Zoom)

＊ファシリテーターのための事前研修

・日/参加数　令和３年１０月２０日/１２名

＊医療や介護の多職種認知症ライフサポート研修(Zoom)
・日/参加数　令和２年１１月２０日/３２名
・講　　師　和ねっと研究所　森岡　朋子 先生

④認知症カフェ連絡会への開催支援・・・・・・　　１回
⑤キャラバンメイト連絡会への参加・支援・・・　　５回
⑥認知症サポーター養成講座での相談窓口の案内　１０回
⑦認知症サポーターフォローアップ研修の企画支援　３回
⑧天王寺区ロバの会への参加・支援・・・・・・　　１回

３）区内の認知症高齢者支援にかかる情報収集・地域課題分析
①区内の認知症高齢者数や地域資源情報収集など
②関係機関の認知症支援に関する取り組みと今後の取り組みまとめ

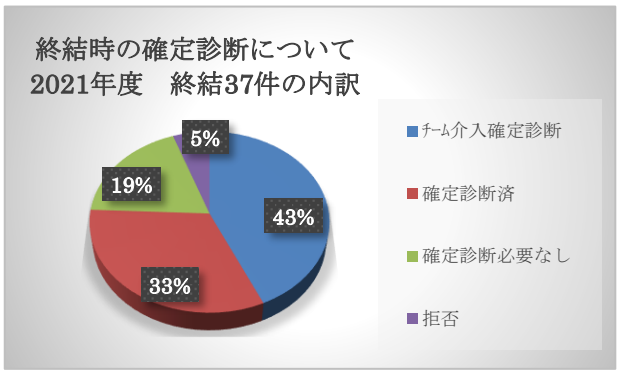
４）認知症の課題に対する地域の取り組みの後方支援
①認知症理解普及のための大阪市立天王寺図書館との協働した取り組み
②“認知症マフ”の啓発活動及び認知症マフを必要な人に届けるための支援

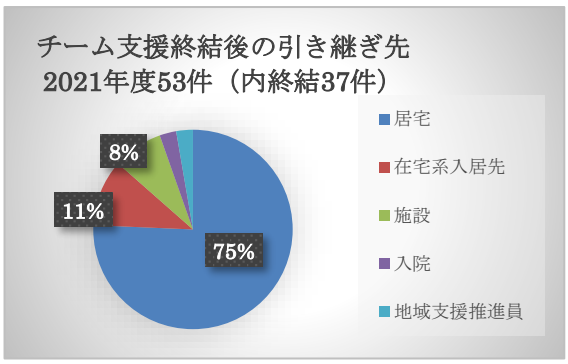
５）オレンジサポーター地域活動促進事業
①事業の広報・周知活動（対象：関係機関・地域・企業・団体等）　１７回
②オレンジパートナー企業(団体)として「認知症の人にやさしい取り組み」
・オレンジパートナー登録勧奨活動　　２０回
・オレンジパートナー企業・団体　　１０件
③ちーむオレンジサポーター（チームオレンジ）
ステップアップ研修受講勧奨活動　１６名　　うち７名受講

（４）認知症初期集中支援推進事業(ゆうあいオレンジチーム)

１）支援対象者総数・・・５３名
・性別・・・・男性１６名、女性３７名
・年齢別・・・７０代１４名、８０代３１名、その他８名
・世帯状況・・独居２７名、夫婦のみ１１名、その他１５名
・相談経路（相談者が最初に連絡した機関）・・・区社協（包括）２０名
チーム２０名、その他１３名

２）支援状況
・訪問延べ回数（内　本人に会えた回数）　　４５１回（４１７回）
・自宅外支援（受診支援・近所への支援など）　８１回





３）会議開催、参加状況

チーム員会議・・・・・・・・・・１２回

関係者会議への参加・・・・・・・４回

地域ケア個別会議への参加・・・・１回

４）広報・普及啓発活動

認知症について正しい理解を広め、早期発見・早期診断

早期対応の相談機関であることを周知する

チームの事業活動場所	啓発物
病院・診療所（１５０ヵ所） 歯科医院（８０ヵ所）薬局（５５ヵ所） 整骨院（６ヵ所）ﾌｨｯﾄﾈｽｸﾗﾌﾞ等（３ヵ所）	チラシ・ポケットティッシュの設置依頼
各地域の配食サービスや百歳体操等	つながり通信やオレンジ通信の配布
公営住宅や民間マンション（３３ヵ所）	啓発及びチラシの掲示、ポスティング
区内、交差点（３ヵ所）公園（１５ヵ所）	ポケットティッシュの配布

広報ゆうあい№.６８や天王寺区広報紙に掲載

区内の掲示板、大阪メトロ（区内３ヵ所）へのチラシ掲示

５）認知症地域支援推進員活動

① 若年性認知症ケース支援

ア　若年性認知症の鑑定診断を受けた人やその家族からの相談・７３件

イ　認知症困難症例の主たる支援機関からの相談・・・・・・・・・４７件

ウ　若年性認知症の方のネットワークの構築・推進

② 地域の認知症対応力向上にかかる業務

ア　認知症の方を支援するネットワークの構築・推進

区内の認知症支援ネットワーク構築のための会議・・・・・・・６回

その他ネットワーク構築のための活動・・・・・・・・・・・・31 回

イ　認知症の方の家族に対する支援事業の実施

認知症カフェ等側面的支援　　・・・・・・・・・・・・・・・５７回

※コロナ禍のため認知症カフェの開催は４団体中、１団体が毎月２回開催（通常各カフェ月１回ペースでの開催）。各認知症カフェ団体の状況把握や情報提供など、側面的支援が中心となる

認知症カフェ連絡会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１回

・第１回　令和３年１０月２２日（金）　参加：３団体

内容：コロナ禍における現状と課題について。意見交換等

家族介護者の集いに参加・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４回

③ 区内関係機関への認知症対応力向上のための支援

講演会に講師・情報提供者として参加・・・・・・・・・・・・・４回

情報提供・専門的助言（ＣＭ包括より）・・・・・・・・・・・・　６回

認知症ライフサポート研修　・・・・・・・・・・・・・・・・・・２回

④ 認知症地域支援推進員の資質の向上のための研修等への参加・・・１２回

介護支援専門員（ケアマネジャー）が、要介護の方のご希望や心身の状態に応じた適切なサービスの提案や利用調整、ケアプラン作成を行い、安心してご自宅で生活を送れるように支援を実施。

年間ケアプラン作成数：要介護　６０６件、　要支援　１２件

契約利用者数：要介護　６３件、　要支援　１件（令和３年３月末現在）

（５）ボランティア・市民活動センターの運営

１）ボランティア需給調整事業

①ボランティア登録者数（令和３年３月末現在）

・個人登録　　４４人　（令和３年度新規登録者　４人）

・グループ登録　　２９団体（令和３年度新規登録　１団体）

②ボランティア活動に関する相談・対応件数

相談・対応の内容		
	登録及び需給調整	４６件
	活動紹介・活動支援	２６件
	交流会・学習会・定例会の開催と参画	７６件
	グループ活動に関する相談・調整	４６件
	ボランティア応援資金・助成金の対応	１２件
	ボランティア養成講座等の開催と参画	９件
	ボランティア保険について	１６件
	その他	１１件
合　計		２４２件
☆ボランティア・市民活動センターにおける活動実績 ８団体　計７７回　延べ４８９人		

２）開催事業

1	60 代からはじめる ZOOM 講習会（第１回・第２回） ※生活支援体制整備事業との共催	日　時	①令和 3 年 9 月 7 日・14 日・21 日・29 日 午後 1 時 30 分～3 時 30 分 ②令和 4 年 1 月 11 日・18 日・26 日・2 月 1 日　午後 1 時 30 分～3 時 30 分
		場　所	天王寺区在宅サービスセンターゆうあい
		講　師	山口 小雪 氏（リーガルサローラ）
		参加者	各回とも 15 人

３）登録団体の支援

1	支援者から学ぶ困った時のケーススタディ 主催：つぼみの会	日　時　令和３年 11 月１日（月）午前 10 時～正午 場　所　天王寺区在宅サービスセンターゆうあい 講　師　小池 一弘 氏 （コイケエドゥ コンサルティングオフィス） 参加者　20 人
2	アンガーマネジメントで適切な叱り方を学ぼう 講座 主催：つぼみの会	日　時　令和３年 11 月 11 日（木）午前 10 時～正午 場　所　天王寺区在宅サービスセンターゆうあい 講　師　尾崎 沙千 氏（一社 アンガーマネジメント協会） 参加者　18 人
3	伊丹昌一先生 個別相談会 主催：つぼみの会	日　時　令和３年８月６日（金）午前 10 時～正午 令和４年１月４日（火）午前 10 時～正午 場　所　天王寺区在宅サービスセンターゆうあい 講　師　伊丹 昌一氏 （梅花女子大学心理こども学部心理学科教授） 参加者　各回とも６人（完全予約制）
4	伊丹昌一先生講演会 ～発達に見合った課題と獲得スキル～ 主催：つぼみの会	日　時　令和４年３月 12 日（土）午後２時～5 時 場　所　天王寺区民センター1 階ホール 講　師　伊丹 昌一氏 （梅花女子大学心理こども学部心理学科教授） 参加者　88 人

４）啓発事業

①ゆうあい ボランティア通信の発行

・６回発行　１回につき約１９０部送付
　関係機関・団体、ボランティア登録者に発送及びボラセン内掲示など

・内容は各種ボランティアに関する情報や各種講座・イベントの紹介など

②ボランティア活動情報誌「ＣＯＭＶＯ」へのチラシ等挟み込み及び地下鉄駅への配架（大阪メトロ谷町線「谷町九丁目」駅）

③各種ボランティア活動情報の広報

・HP・Facebook での広報、パンフレット・チラシ等の窓口設置、地域の各行事などでの告知・チラシ配布など

５）その他の事業

①ボランティアグループ支援活動

・各種ボランティアグループの活動支援
　登録ボランティアグループの定例会・行事・講演会などへの支援

②ボランティア保険の受付

・ボランティア活動保険（受付件数：59 件、加入総数：452 人）

・ボランティア活動行事保険（受付件数：142 件、加入総数：6,888 人）

・その他　各種保険（受付件数：2 件、加入総数：11 人）

③福祉ボランティア活動応援資金の受付

・９グループに交付した。（助成金額：250,000 円）

４　その他

エコキャップ回収運動の推進

※ポリオワクチンで世界の多くの子どもたちの命を救おう!!!

・ペットボトルのキャップを集めてポリオワクチンにかえる活動に協力。

・平成２７年度より、地域の方々から寄せられたキャップはワークセンター中授（東上町）の事業と連携を図っている。

天王寺区社会福祉協議会取り扱い分　　エコキャップ　６３８，４３８個（累計）